

第6回公開授業(小4総合) 「北川村のゆずのすごさをもっと見つけよう」

北川村のゆずはすごいと考えている4年生。本年度は、もっとゆずのことについて知り、すごさを見つけようと取り組んできました。ゆず農家やJA、ゆず王国など、ゆずに関わる人々にインタビュー、見学、体験したりしながら、それぞれの努力や工夫を見つけてきました。本時は、ゆずに関わる人々(ゆず農家、JA、ゆず王国)の共通した努力や工夫、その理由を考えることによって、北川村のゆずのすごさについて考えることをねらいとした授業でした。事前に考えていたそれぞれの努力や工夫の共通点とその理由を班内で出し合い、分類し、キーワードを短冊に書いた後、全体で共有しました。それらの意見をもとに、北川村のゆずのすごさについて考えました。一人ひとりが、これまでの活動をもとに、自分の言葉で意見を出すことができていました。



前時のふりかえり



個人思考 キーワードに赤線



グループ思考 意見を出し合う



キーワードを短冊に書く



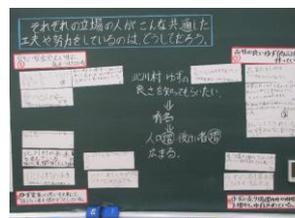
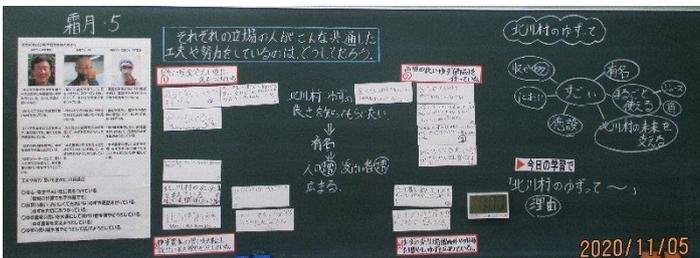
全体共有 短冊をもとに考えを述べる 北川村のゆずのすごさを出し合う



ふりかえりを書く



ふりかえり 発表



北川村のゆずって、北川村を支えている。どうしてそう思ったかという、ゆずで北川村が有名になることによって、人口増、後継者増、広まってどんどん人口も増。

共通取組事項！

★整理・分析の工夫

例)「工夫」と「努力」を分け「工夫」から「戦略」を見つける。課題だけでなく、よさを感じさせる。

★意見を出し合い学び合う場 ↔ 思考ツールの活用

ねらいに向けて深めさせる

要点をしぼって書く(キーワード、赤線)⇒ キーワードをもとに話し合える力をつける

こどもの意見をうまく拾い、ねらいに向けて深く考えさせる。

★ふりかえりの工夫

何を書くか、要点を絞る (リード文の活用など)

小4の授業映像

「校内研修」→「2学期」→「小4公開」

★北川小中のキャリアパスポートの工夫

振り返りノートやファイルなどを残して活用

各学年、小中の学びをつなげる

指導助言 (久武指導主事より)

単元構成について

○同じ題材を使って各学年で活動

3年・4年・中2でも「ゆず」を扱っている。

4年でどこまで深めさせるか考えること。

4年：北川村のゆずに対する概念を再構築する活動＝

自分の言葉で「北川村のゆずのすごさ」を
語る

○単元構成

体験を通して多面的、多角的にゆずを見ている。

様々な立場の方と積極的に関わっている。

キーワード「つながり」
横のつながり、縦のつながり（伝統）

<小単元2> 横のつながりについてまとめている。 ⇔ 縦のつながりも大切（伝統）

<小単元3> 北川村のゆずのすごさをひきついでいるのは食改さんなのか？

身近な人（仕事だけでなく、日常生活でゆずを使って守ってきた人）もそうではないか。

Uターンゆず農家の平岡さんは小単元3へ入れるといい。（ゆずを引き継ぐために帰ってきている）

知識・技能：北川村のゆずは、自分たちの生活を支えていることに気付く



授業について

○児童の意欲はすばらしく、やることがわかって活動できている。

S：赤線ですね。

S：ホワイトボードですね。



○要点をしぼって書く練習も必要 (何を書くか、どうまとめるか)

○整理・分析

短冊を貼った後、一度整理したらよかった。 **ねらいに向けるために、どの短冊を使って、どうまとめるか考える。**

<安心・安全> 「赤字になって倒産するから」

<後継者> 「JAに売るとお金が入ってきて生活ができるから」

これらを取り上げて価値付けする。

「ゆずが生活に関わっている」ことに気付かせる。

<工夫>と<努力>を分けて考えさせてはどうか

<工夫> 有機栽培、カラーリング、商品開発

戦略である。

課題だけでなく、可能性、よさ、プラス面を感じさせる。

キャリア教育にもつながる。

○まとめ

「北川むらのゆずのすごさって」何か考えさせる。

これまでのゆずに対する概念と違った価値にフォーカスさせる

北川学の学びの接続

○キャリアパスポートで残してはどうか

ふりかえって活用する

個人のまとめもあるといい

小中の学びをつなげる

ふりかえりまとめ



授業や協議で学んだこと、生かしたいこと

★本時の目標：ゆずに関わる人々（ゆず農家、JA、ゆず王国）の共通した努力や工夫、その理由を考えることによって、北川村のゆずのすごさについてさらに考える。

○「めあて」の設定が大切

単元構成にストーリー性をもたせると、子どもの思考ともつながりやすくなる。

○日々の取組の積み重ね

□年生なりのゆず、北川村、将来について等、学んでいき、その積み重ねが大事。

題材の準備やまとめ方の指導など、日常の積み重ねが大切。

自分の意見を出し合い、話し合い、まとめ、発表する姿がすばらしい。

意欲もあり、総合を楽しんでいる姿に日々の積み重ねを感じた。

○意見を出し合い、学び合う場 ⇔ 思考ツールの活用

ふせんや短冊を書くときはキーワードを重視する ⇒ キーワードをもとに話し合いできる力をつける。
教師が視点やポイントを提示することが大事。

何を書くか、どうまとめるかを考えさせ、**要点をしぼって書かせる**ことが大切。**大事な所に赤線**など。
⇒高学年に向けて鍛えていく必要がある。

○整理・分析の工夫

「工夫」と「努力」を別にしてまとめると、工夫の中に「戦略」が見えてくる。
村の課題だけでなく、**戦略に目をつけて考えていく**ということが勉強になった。

○ゴールイメージ、付けたい力を明確にもつことが大切



ねらいに向
けて深める

○子どもの意見を取りあげ価値付け、深める⇒発問のタイミング、どの言葉を取りあげ、ねらいに迫るか
たくさんの意見の中からどれを取り上げ、ねらいとする考えを引き出すか。

例)「倒産する」という言葉を拾う等、「ゆずが自分たちの生活を支えてくれている」ことに気付かせる。
出た意見をもう一度確認したり、どうしてそのような仲間分けにしたのか考えさせたりする。

○振り返りの工夫

何をどう書くか、要点を絞って書かせていく。(たくさん書くことができていたので)

リード文を使っているのがいい。参考にしたい。 例)「北川村のゆずのすごさって・・・」

小中で学び
をつなげる

○北川村のキャリアパスポートの工夫

キャリアパスポート（個人バージョン）のようなものがあるといい。(振り返りのノートを残す等)

その他

参観者より(保護者・地域の方)

- ひとりひとりが自分の考えを発表できていた。北川村のゆずのことをよく考えているのがよかった。
- 各グループが協力して意見を出し合っていることは、**協調性もできて（発言力できて）**良い授業風景でした。
- 「北川村のゆず」をテーマに、皆で**振興策**を考えたことがすばらしいと思う。
- 多人数の中でも、自分の意見を言い、**友達の見解とのすりあわせ**ができるようになり、**成長したように思う**。
- ゆずだけでなく、**それぞれが北川村を愛している心**が大切だと思いました。
- 初めて公開授業を見学しました。大勢の大人たちに囲まれても**授業に集中して取り組んでいる姿**が印象的でした。自分の子どもたちの時代と授業風景もずいぶん変わっていました。
- 今の子どもたちがどのように考えて学習しているのかを見せてもらいました。自分たちの村（北川村）のことをどのように勉強しているのかをこれからも見せてもらいたいと思います。
- 北川村特産のゆず等を小・中学生にPRしてもらったらもっといい商品等ができると思う。大人と子どもの考え方が違うので、子どもたちに商品を考えてもらったらいいと思う。

